

株式会社トプコン 2025年3月期第3四半期説明会

代表取締役社長 CEO
江藤 隆志

2025年1月30日





連結

- FY24通期は、ポジショニング事業の想定以上の低迷で、業績見通しを下方修正
- 成長シナリオと構造改革推進により、中長期的な利益成長には確固たる自信を維持

ポジショニング事業

- 米新政権の政策不透明感や市況低迷に伴う投資抑制の影響が想定以上
- 景気循環の影響を受けつつも持続成長、構造改革で収益力向上と安定化を図る

アイケア事業

- FY24通期見通しは、期初計画から変更なく、過去最高更新を見込む
- 好調なスクリーニングビジネスを基に、シェアードケアへの展開で売上成長を加速
- 構造改革により事業効率化と収益性向上を推進

決算ハイライト



● FY24Q3累計実績


連結


売上高 **1,535**億円
前年度比 ▲2%

営業利益 **8**億円
前年度比 ▲88%

ポジショニング事業

前年同期比


売上高 


営業利益 

需要低迷継続で減収幅拡大、**構造改革により固定費削減**も減益

アイケア事業

前年同期比

売上高 

営業利益 

売上堅調も、成長投資にかかる費用増で一時的に減益

● FY24通期見通し


連結 | 新公表値


売上高 **2,110**億円
前年度比 ▲3%

営業利益 **70**億円
前年度比 ▲38%

ポジショニング事業

前年度比


売上高 


営業利益 

厳しい外部環境が継続、構造改革を加速

アイケア事業

前年度比

売上高 

営業利益 

費用増を吸収し、売上高・営業利益ともに過去最高を見込む

01 FY24 第3四半期決算報告

- 連結決算
- 事業別の状況 | ポジショニング事業
- 事業別の状況 | アイケア事業

02 FY24 通期見通し

- 連結見通し
- 事業別の見通し | ポジショニング事業
- 事業別の見通し | アイケア事業

03 各事業の進捗

- ポジショニング事業 | シクリカルな事業特性
- ポジショニング事業 | 新製品リリース
- アイケア事業 | 成長フェーズの更なる加速へ
- アイケア事業 | スクリーニングからシェアードケアへの展開加速

04 参考資料

- 業績推移
- 地域別売上高
- 設備投資・減価償却費・研究開発費 / 為替感応度

FY24 第3四半期決算報告

01

- 連結決算
- 事業別の状況 | ポジショニング事業
- 事業別の状況 | アイケア事業

01 | FY24 第3四半期決算報告

連結決算



(単位：億円)	FY2023 Q3累計実績	FY2024 Q3累計実績	前年同期比	%
売上高	1,569	1,535	▲33	▲2%
売上総利益	832	809	▲23	▲3%
売上総利益率	53.1%	52.7%	▲0.4pt	
販管費	767	801	+34	+4%
営業利益	65	8	▲57	▲88%
営業利益率	4.1%	0.5%	▲3.6pt	
経常利益	46	▲21	▲67	-
特別損益	▲33	▲4	+29	-
四半期純利益	4	▲29	▲32	-
為替換算レート (期中平均)				
USD	142.76円	152.87円	+10.11円	
EUR	155.19円	164.91円	+9.72円	

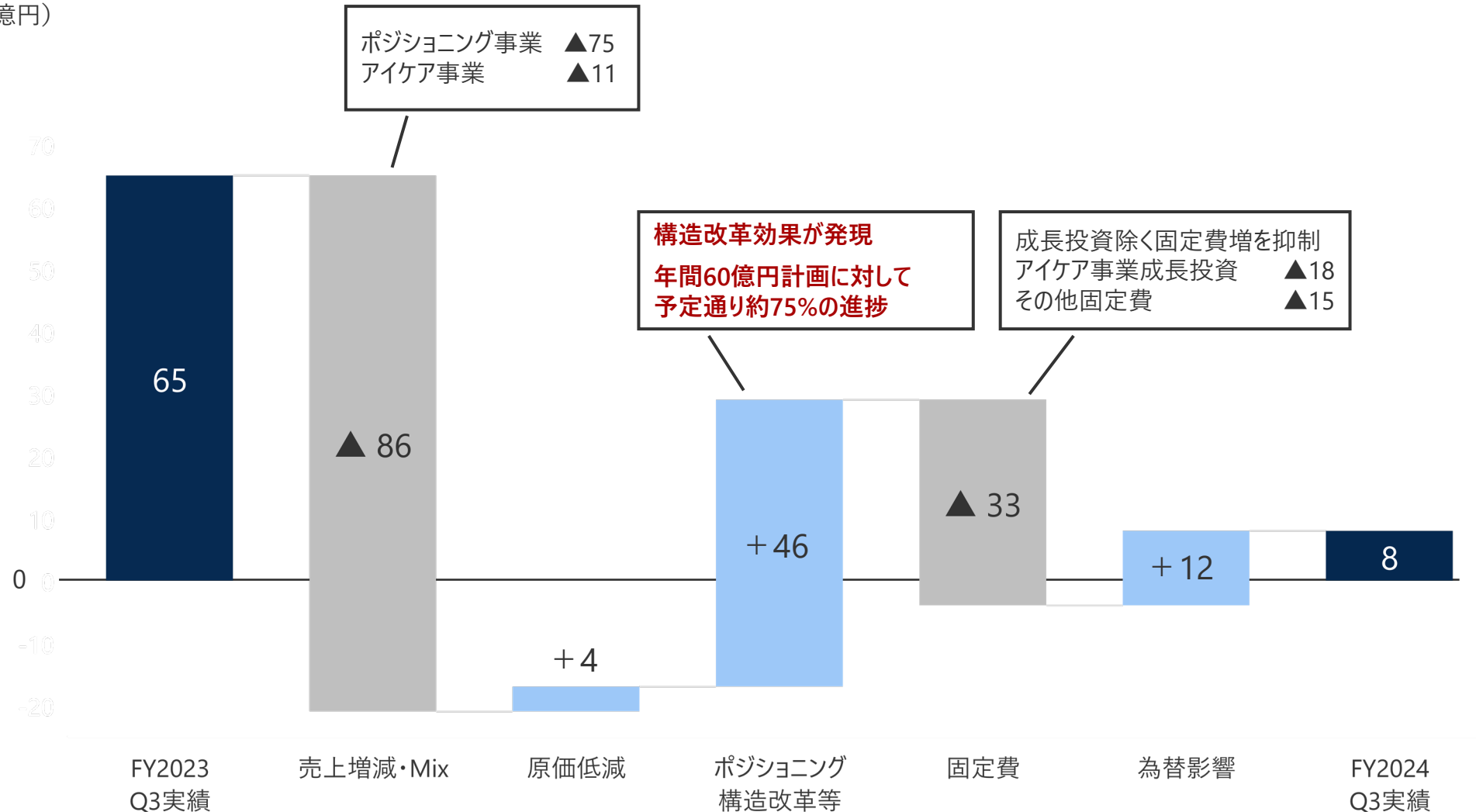
為替効果を除く
前年同期比
▲117億円 (▲7%)

為替効果を除く
前年同期比
▲9億円 (▲1%)

連結決算 | 増減益分析 (営業利益の前年同期比較)



(単位：億円)



事業別の状況 | ポジショニング事業



- 需要低迷継続で減収幅拡大、構造改革により固定費削減も減益

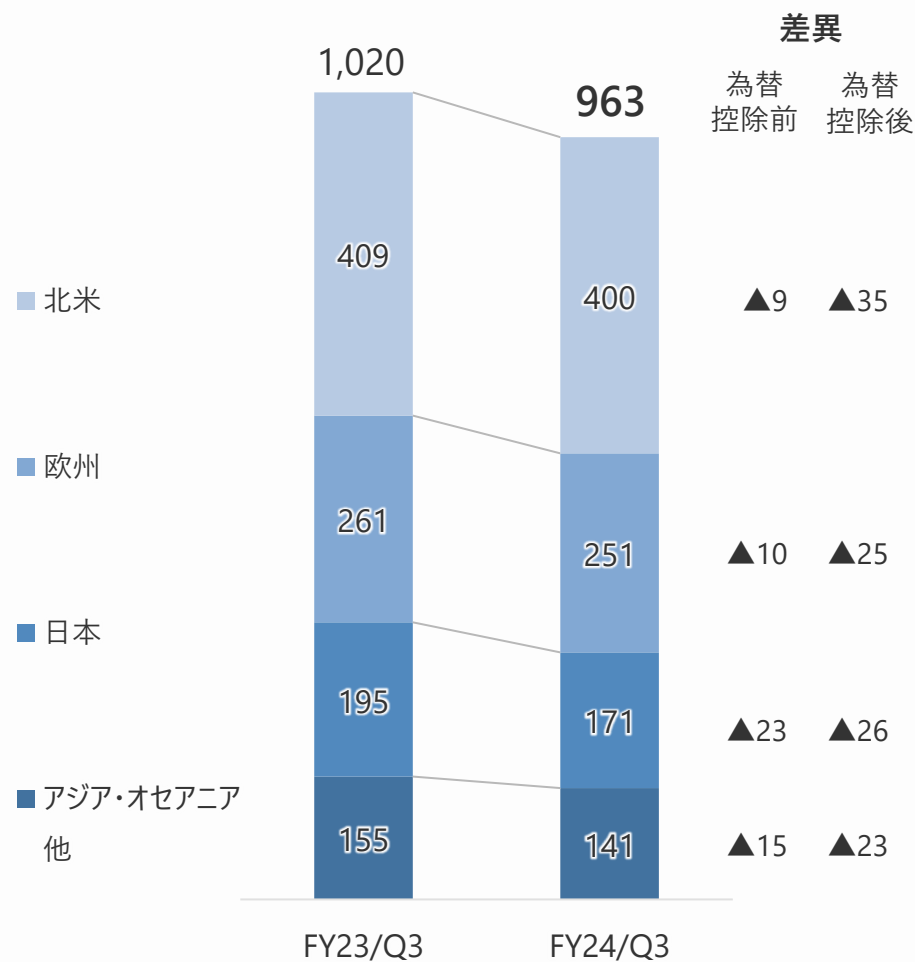
(単位：億円)	FY2023 Q3累計実績	FY2024 Q3累計実績	前年同期比	%
売上高	1,020	963	▲57	▲6%
営業利益	59	21	▲38	▲64%
営業利益率	5.8%	2.2%	▲3.6pt	
為替換算レート (期中平均)	USD	142.76円	152.87円	+10.11円
	EUR	155.19円	164.91円	+9.72円

為替効果を除く
前年同期比
売上高▲110億円 (▲11%)



(単位：億円)

地域別売上高



北米

- ✓ ICT施工は、**市中在庫安定化**も、貿易政策等の先行き不透明感による投資抑制影響で、OEM中心に販売低迷が継続
- ✓ IT農業は、穀物価格下落による投資抑制の影響が継続

欧州

- ✓ IT農業は、穀物価格下落による投資抑制の影響が継続

日本

- ✓ 遅延していた測量機の新製品投入も売上貢献は第4四半期以降

アジア・オセアニア

- ✓ 中国の測量機が販売減少
- ✓ オセアニアでICT施工と測量機・レーザーが販売減少

事業別の状況 | アイケア事業



- 売上堅調も、成長投資にかかる費用増で一時的に減益

(単位：億円)	FY2023 Q3累計実績	FY2024 Q3累計実績	前年同期比	%
売上高	542	570	+28	+5%
営業利益	42	26	▲16	▲39%
営業利益率	7.7%	4.5%	▲3.2pt	
為替換算レート (期中平均)	USD	142.76円	152.87円	+10.11円
	EUR	155.19円	164.91円	+9.72円

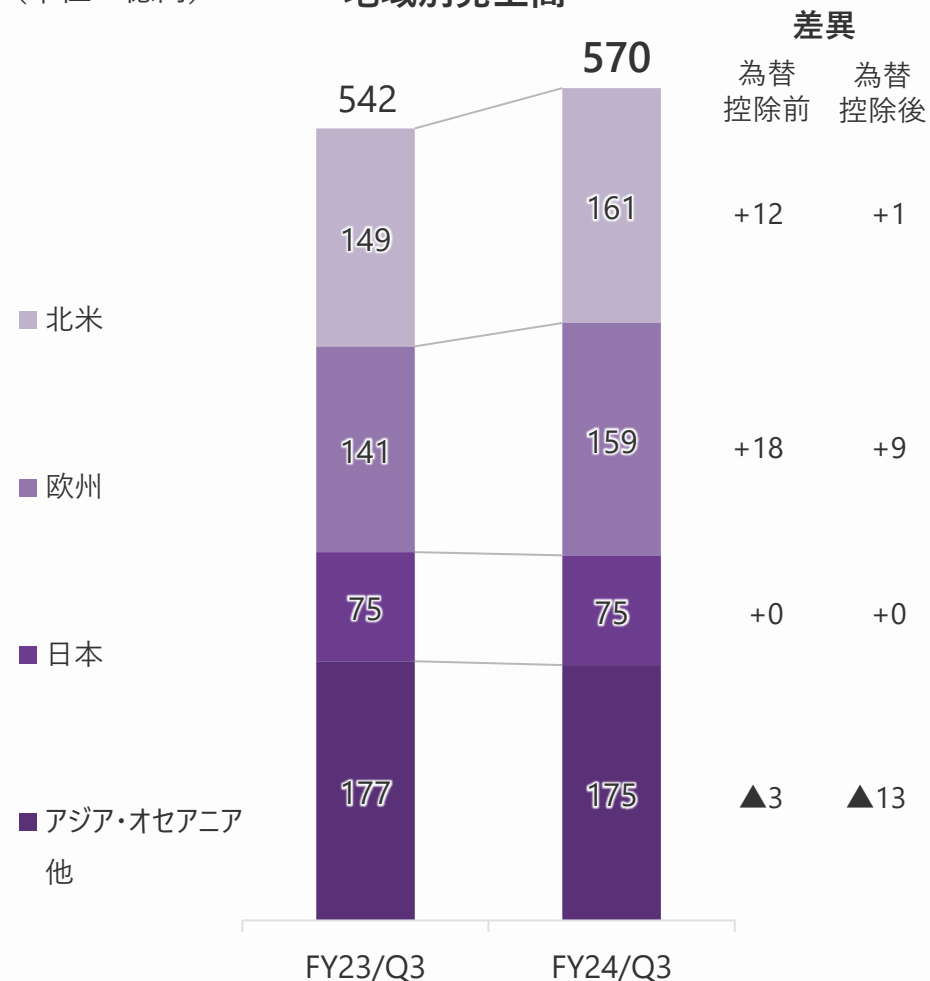
為替効果を除く
前年同期比

売上高▲3億円 (▲0%)



(単位：億円)

地域別売上高



北米

- ✓ 一部期ズレが発生も、大手眼鏡チェーン店向け中心に販売堅調
- ✓ 直販体制構築の効果で、眼科医向けビジネスが拡大

欧州

- ✓ 地域差はあるも、大手眼鏡チェーン店向けや大型入札獲得などにより堅調な販売が継続

アジア・オセアニア

- ✓ 中国は、保険償還遅延・削減による病院経営悪化、腐敗防止による入札減少影響で販売大幅減
- ✓ 中国を除くインドなどアジア地域は、継続的な入札案件の獲得等により販売増

FY24 通期見通し

02

- 連結見通し
- 事業別の見通し | ポジショニング事業
- 事業別の見通し | アイケア事業

02 | FY24 通期見直し 連結見直し



● 見通しの前提

ポジショニング事業

- ICT施工は、米新政権の政策不透明感から当社見直しとのギャップが生じ、買い控えの影響が拡大
- IT農業は、穀物価格の下落で投資抑制が長引く見直し

アイケア事業

- 期初想定から変更なし

構造改革

- 収益体質改善をさらに推し進めるため、ポジショニング事業を中心に追加の構造改革※を実施予定

※特別損失に計上予定

● 下方修正 | 新公表値

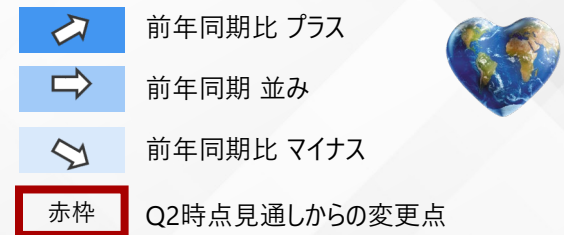
(単位：億円)	旧公表値 (10/30)	新公表値 (1/30)	旧公表値比	FY2023通期実績
売上高	2,200	2,110	▲90	2,165
営業利益	120	70	▲50	112
経常利益	80	35	▲45	89
純利益	45	0	▲45	49
ROE	4%	0%	-4pt	5%
配当	42円	42円	0円	42円
為替換算レート (期中平均)	USD 145.00円	145.00円		144.40円
	EUR 155.00円	155.00円		156.80円

Q3以降前提レート

Q4前提レート

連結見通し | 事業別売上高の状況

- ポジショニング事業の測量機・レーザー機器、アフターマーケットの見通しを変更



- 前年同期比 プラス
- 前年同期 並み
- 前年同期比 マイナス
- 赤枠** Q2時点見通しからの変更点



参考：Q2時点見通し

セグメント	ソリューション	主要なマーケット※2	FY2024	
			上期	下期(見通し)
ポジショニング事業	測量機・レーザー機器	測量・建設	↘	↘
	ICT施工※1	OEM	↘	↘
		アフターマーケット	→	↘
	IT農業※1	OEM	↘	↘
アフターマーケット		↘	↘	
アイケア事業	検眼・診断機器	医療機関/ 大手眼鏡チェーン店/ドラッグストア	→	→
	スクリーニング・ その他サービス	医療機関/ 大手眼鏡チェーン店/ドラッグストア	→	→

FY2024	
上期	下期
↘	→
↘	↘
→	→
↘	↘
↘	→
→	→
↘	→

※1 ドル建てベースで比較

※2 OEM：建設機械メーカー、農業機械メーカーに販売
アフターマーケット：ICT施工・IT農業の後付け販売

事業別の見通し | ポジショニング事業



- 厳しい外部環境が継続、構造改革を加速

(単位：億円)		旧公表値 (10/30)	新公表値 (1/30)	旧公表値比	FY2023 通期実績
売上高		1,370	1,280	▲90	1,404
営業利益		100	50	▲50	91
営業利益率		7.3%	3.9%	▲3.4pt	6.5%
為替換算レート (期中平均)	USD	145.00円	145.00円		144.40円
	EUR	155.00円	155.00円		156.80円
		Q3以降前提レート	Q4前提レート		

事業別の見通し | アイケア事業



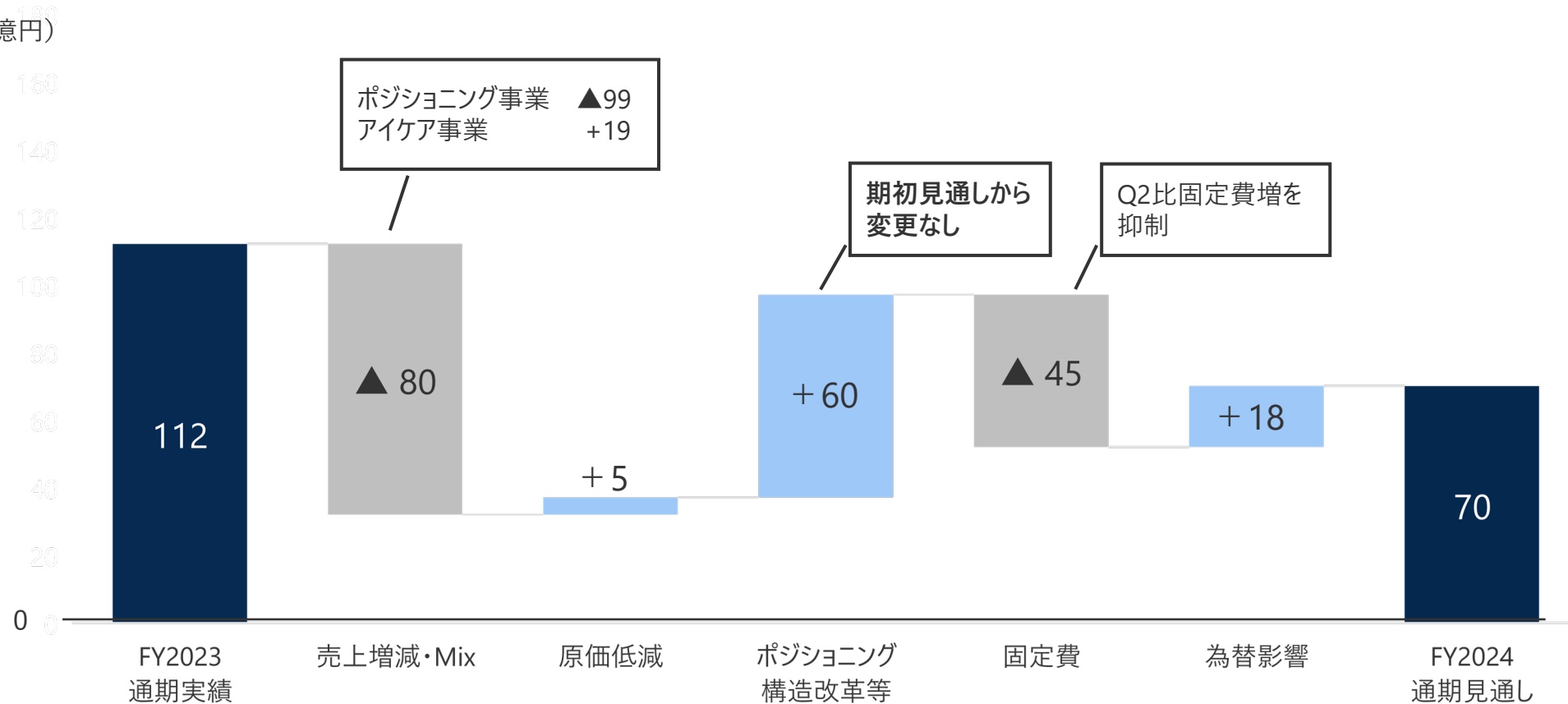
- 期初計画から変更なし
- 費用増を吸収し、売上高・営業利益ともに過去最高を見込む

(単位：億円)		旧公表値 (10/30)	新公表値 (1/30)	旧公表値比	FY2023 通期実績
売上高		820	820	-	752
営業利益		75	75	-	67
営業利益率		9.1%	9.1%	-	8.9%
為替換算レート (期中平均)	USD	145.00円	145.00円		144.40円
	EUR	155.00円	155.00円		156.80円
		Q3以降前提レート	Q4前提レート		

連結見通し | 増減益分析 (営業利益の前年度比較)



(単位：億円)



各事業の進捗

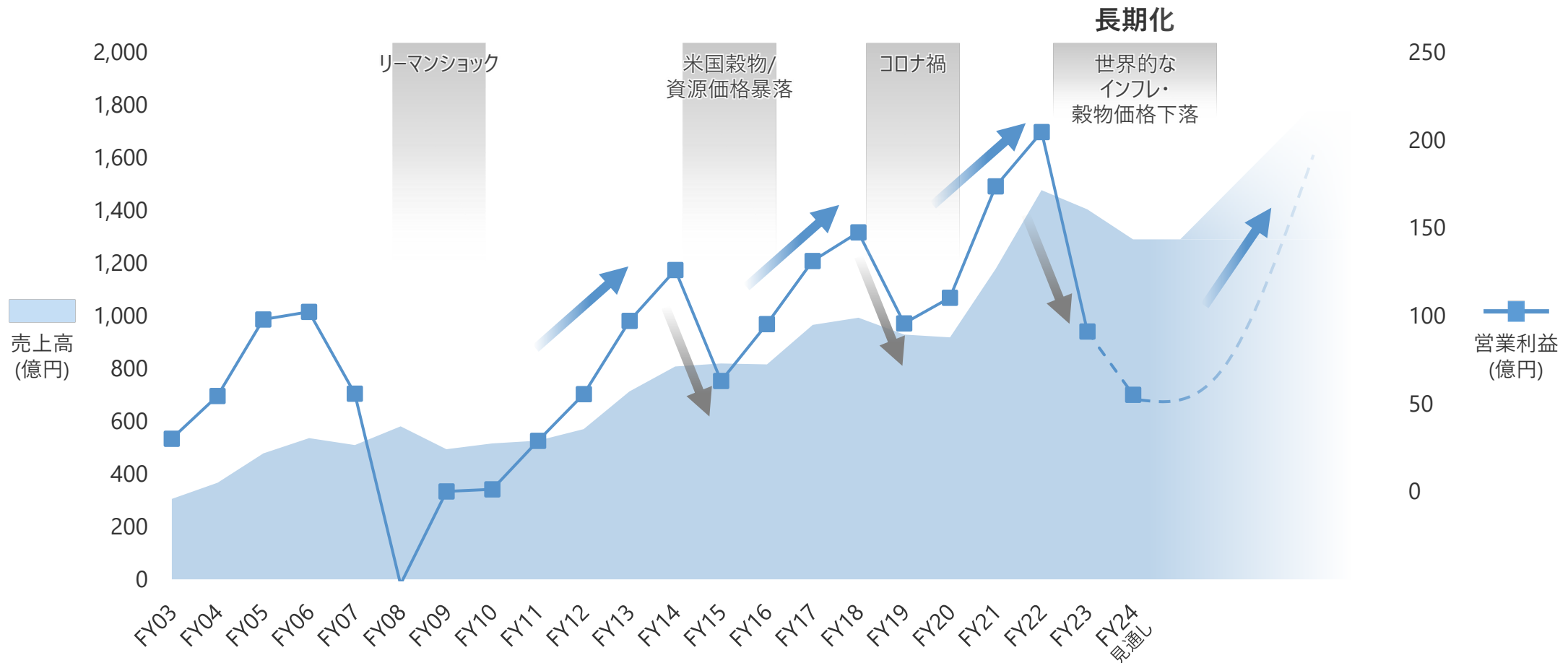
03

- ポジショニング事業 | シクリカルな事業特性
- ポジショニング事業 | 新製品リリース
- アイケア事業 | 成長フェーズの更なる加速へ
- アイケア事業 | スクリーニングからシェアドケアへの展開加速

ポジショニング事業 | シクリカルな事業特性



- 世界的なインフレ・穀物価格下落の影響が想定より長期化
- 景気循環の影響を受けつつも持続成長、構造改革で収益力向上と安定化を図る





- 国内企画・開発マネジメント体制強化の効果が発現し、測量機新製品をリリース

測量からICT施工をカバーするトップセラー レイアウトナビゲーター “杭ナビ”

電源システムの強化と測定可能範囲を拡大させた
『LN-160』を発売



- バッテリー持続時間の向上
- 測定可能範囲の拡大

2024年12月2日 (<https://www.topcon.co.jp/news/15022/>)

世界最速・最小・最軽量クラス モータードライブトータルステーション

「Silky Drive® 技術」を搭載した『GT-1500/700シリーズ』を発売



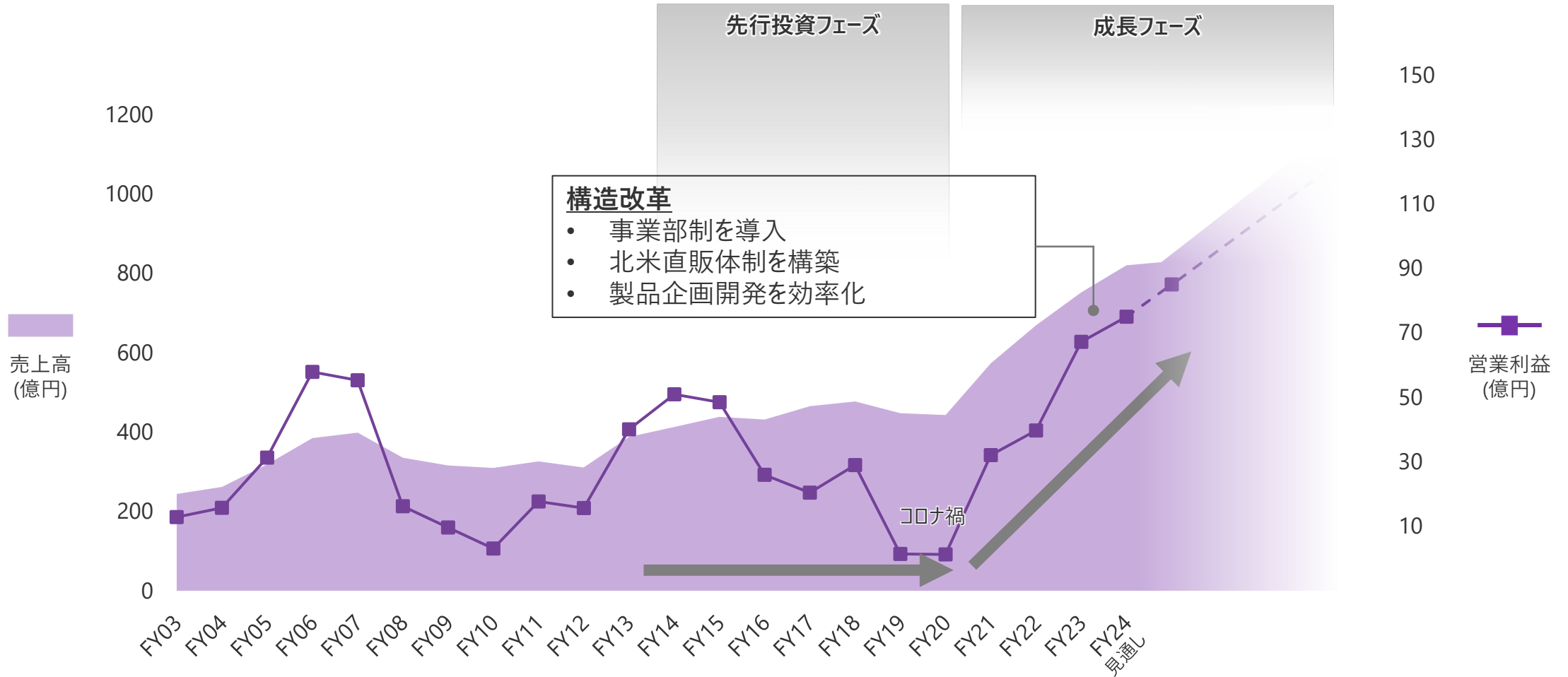
- より高効率かつコンパクト
- 駆動時の安定性や静音性を追求
- 従来機に比べ追尾性能2倍
- 回転スピード10%向上

2025年1月14日 (<https://www.topcon.co.jp/news/15155/>)



アイケア事業 | 成長フェーズの更なる加速へ

- ソリューションビジネスの開花、スクリーニングからシェアードケアへ展開
- 構造改革により事業効率化、収益性改善





アイケア事業 | FY23本決算資料・再掲

- “Healthcare from the Eye”の実現に向けて

アイケア事業 | スクリーニングビジネスの開花、更なる先へ [2/3] Highlight

■ “Healthcare from the eye”の実現に向けて、戦略的に事業推進
 ■ かかりつけ医へのソリューション展開を加速、AI等活用により対応疾患領域を拡大※

13万 カ所 **かかりつけ医**

4万 カ所 **大手眼鏡チェーン店/
ドラッグストア
(オプトメトリスト)**

2万 カ所 **眼科専門医**

④ Healthcare from the eye
より大きな市場を創出

③ シェアードケア

② スクリーニング

① 基盤(眼科健診・検査)

北米マーケット

疾患対応領域

眼疾患
白内障、緑内障、糖尿病網膜症等

全身疾患へ
糖尿病、神経疾患、アルツハイマー病、パーキンソン病、
心筋梗塞等

※FDA承認が必要

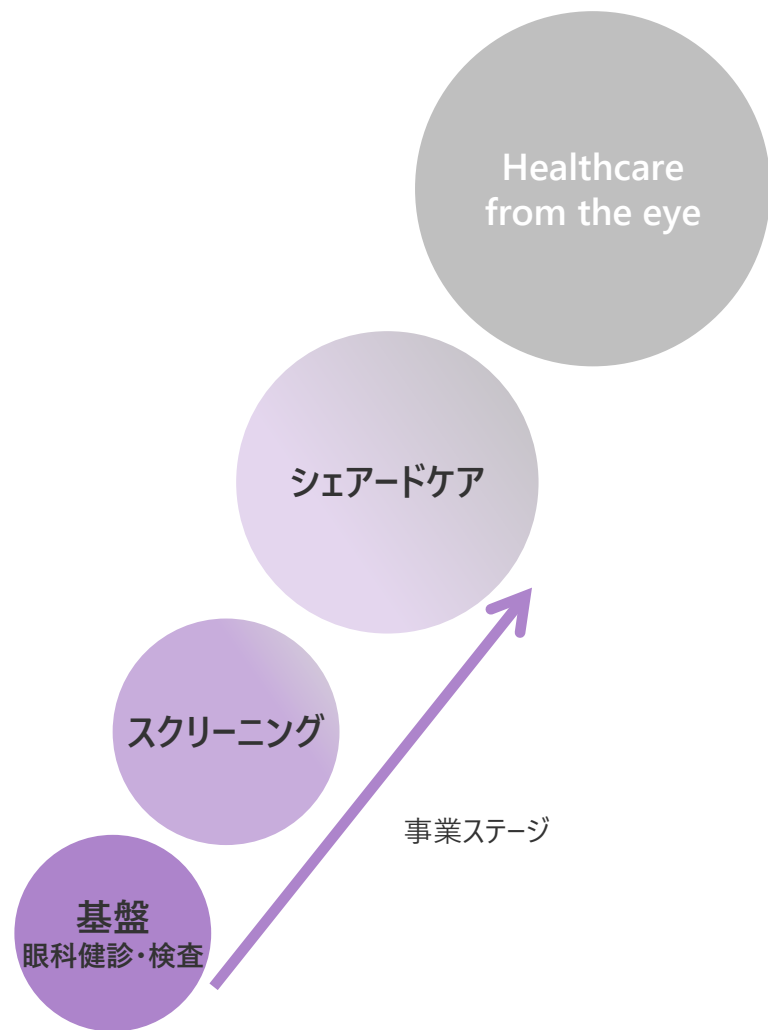
©2024 Topcon Corporation

TOPCON 29

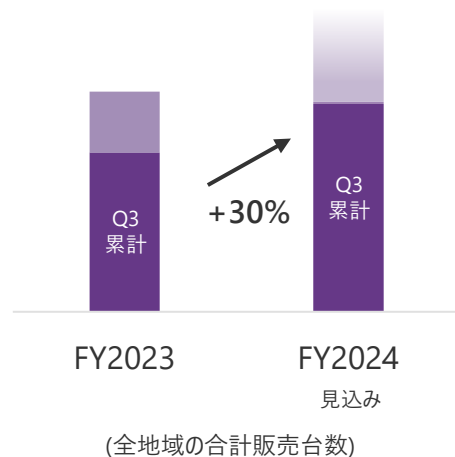


アイケア事業 | スクリーニングからシェアードケアへの展開加速

- 欧米中心にスクリーニング機器・データプラットフォームが更に普及拡大

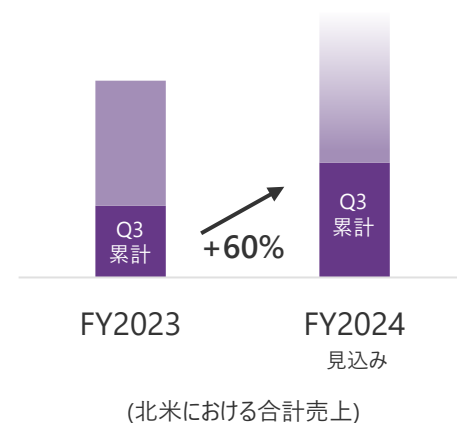


スクリーニング機器 Maestro・NW※1の販売台数



※1 ワンタッチ・フルオートの簡単操作の
OCT&眼底カメラMaestro、無散瞳眼底カメラNW

データプラットフォーム ITソリューション※2の売上



※2 Harmony/RDxを含む全ITソリューション

世界を丸く。



尖ったDXで、

参考資料

04

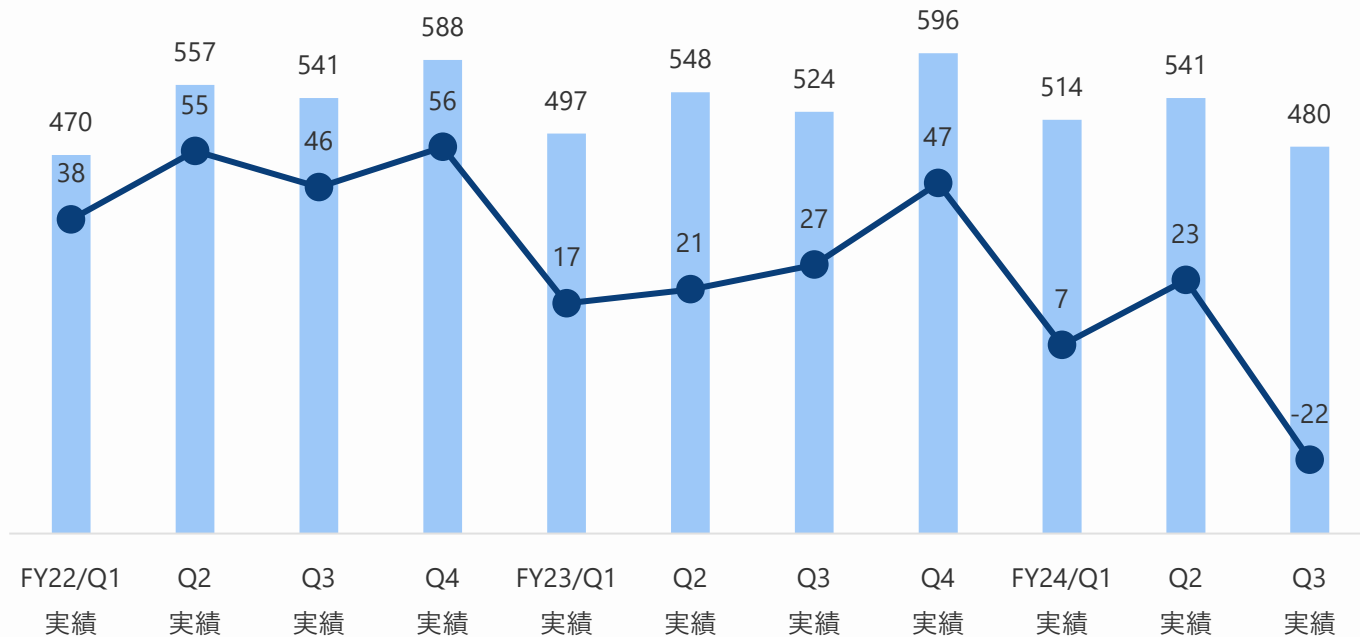
- 業績推移
- 地域別売上高
- 設備投資・減価償却費・研究開発費 / 為替感応度



四半期

(単位：億円)

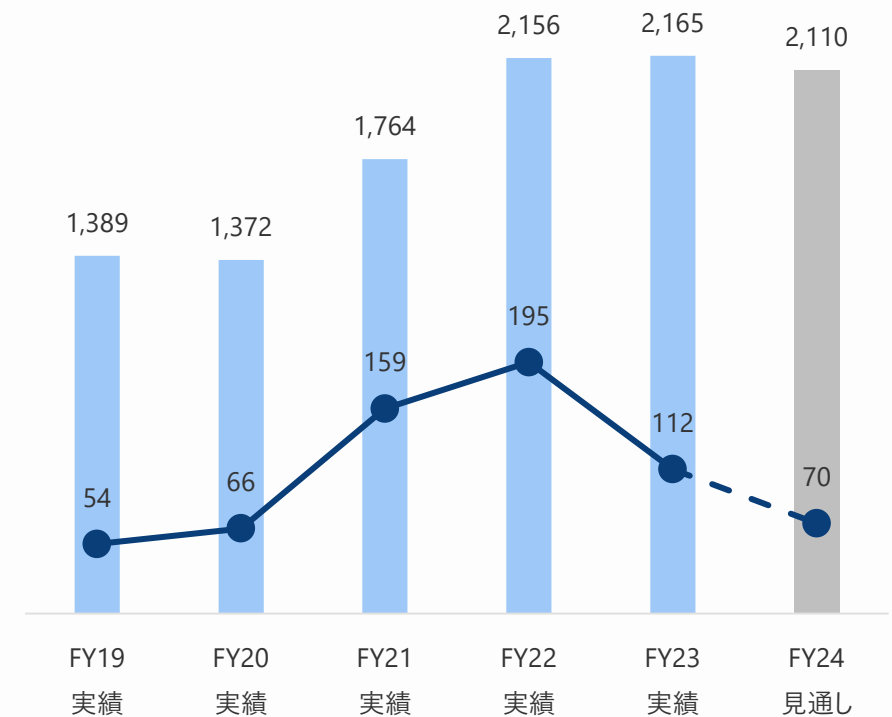
売上高 ● 営業利益



通期

(単位：億円)

売上高 ● 営業利益

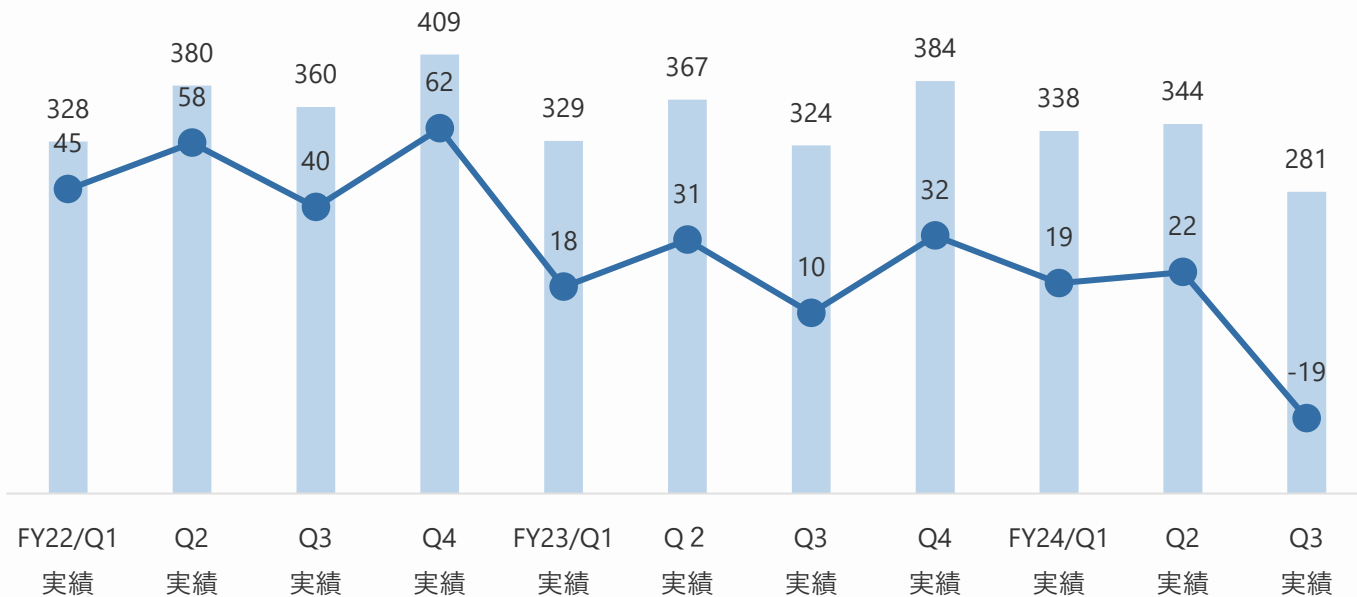




四半期

(単位：億円)

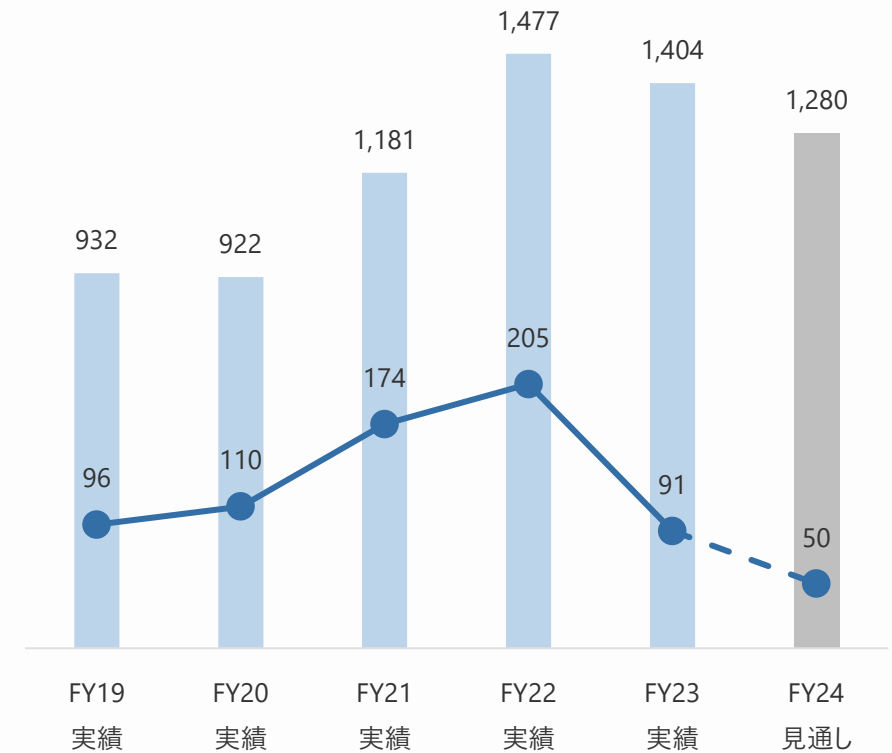
売上高 ● 営業利益



通期

(単位：億円)

売上高 ● 営業利益

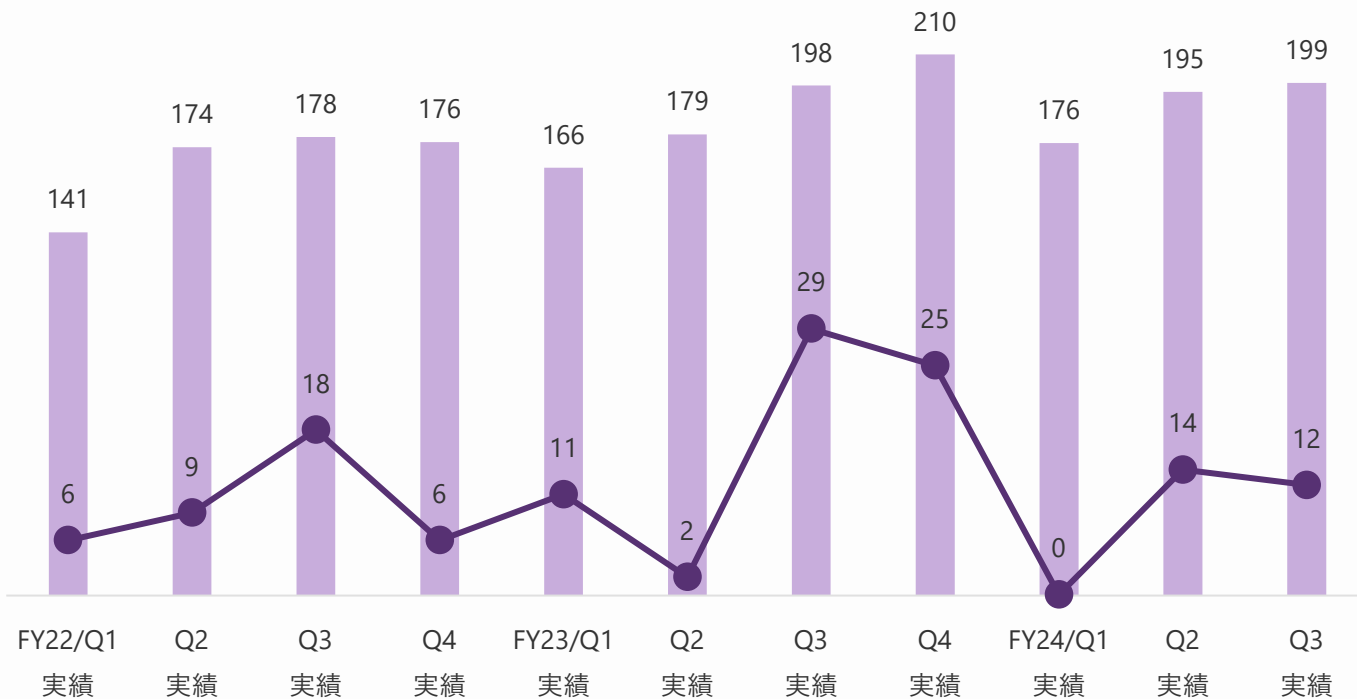




四半期

(単位：億円)

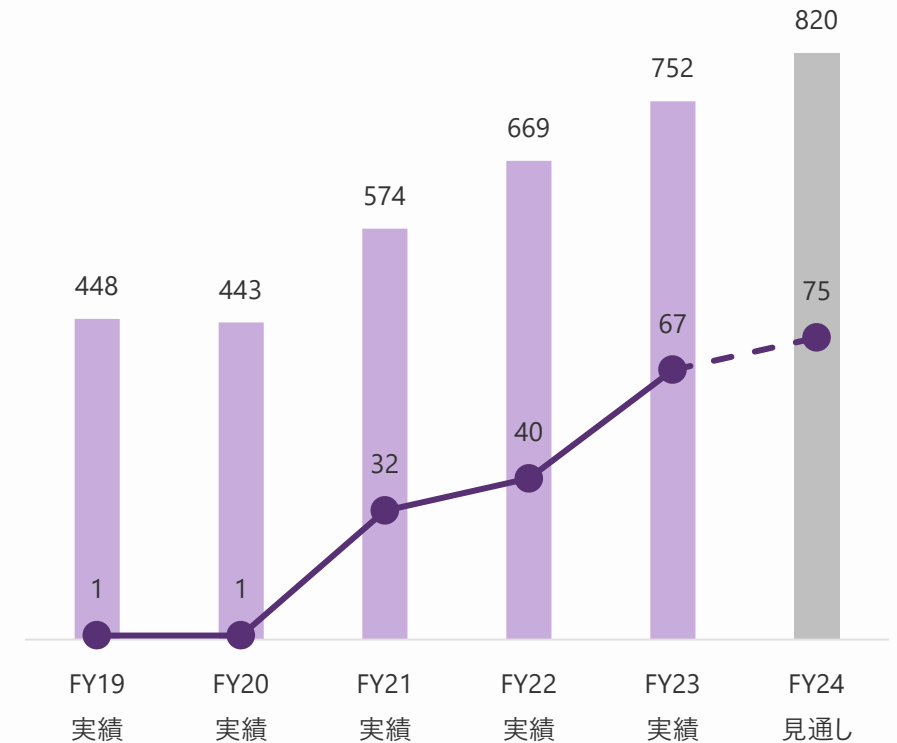
売上高 ● 営業利益



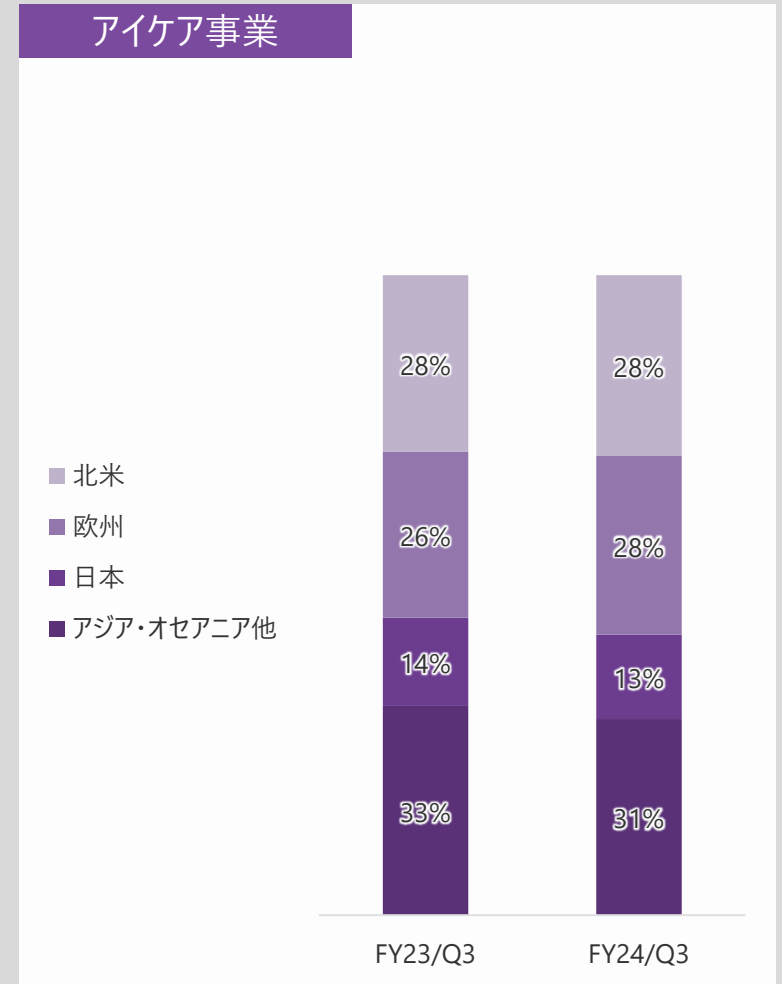
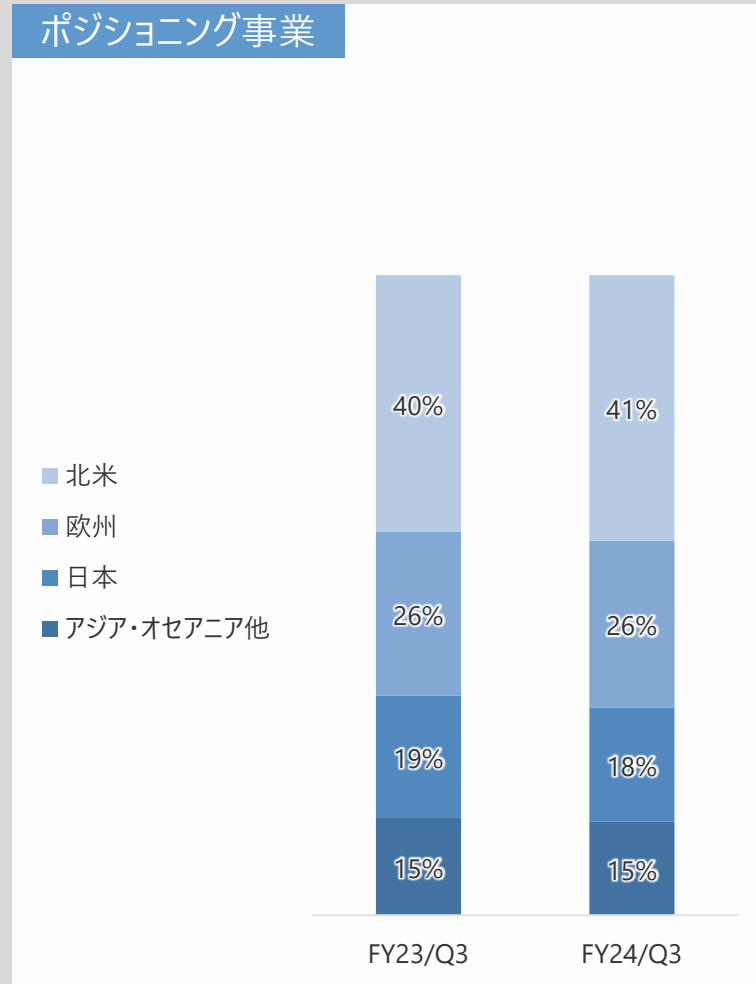
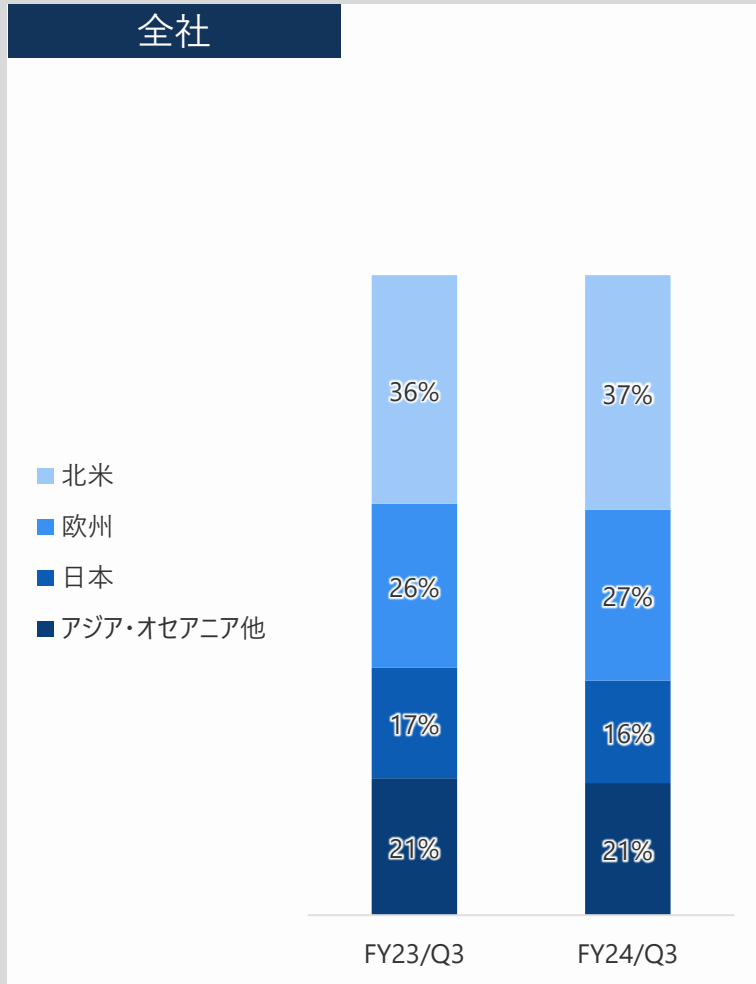
通期

(単位：億円)

売上高 ● 営業利益



地域別売上高

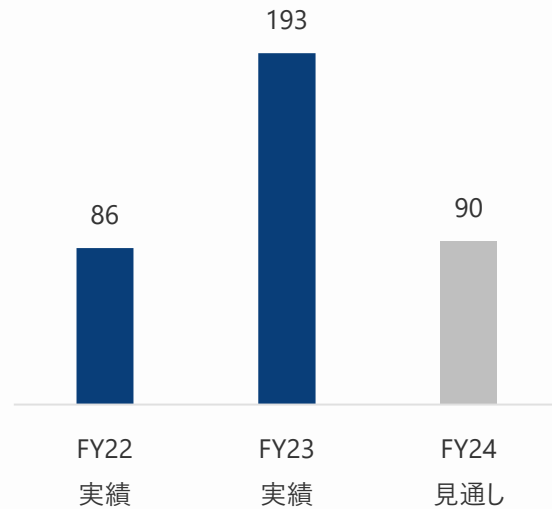




設備投資・減価償却費・研究開発費 / 為替感応度

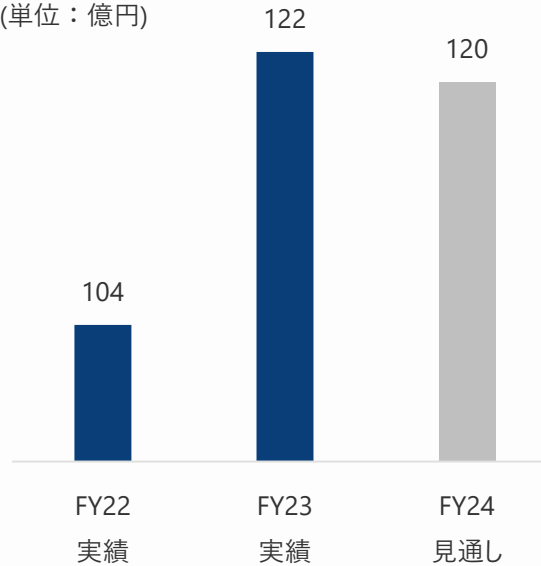
設備投資

(単位：億円)



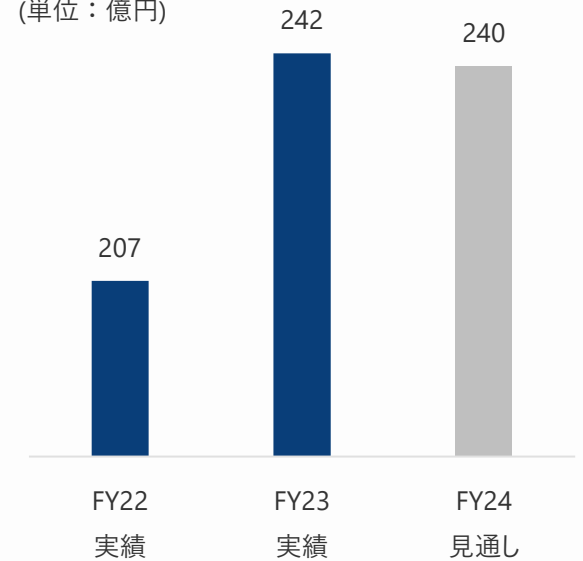
減価償却費

(単位：億円)



研究開発費

(単位：億円)



為替感応度

(1円の変動による影響額)

	営業利益
USD	1.5～2億円
EUR	0.7～1億円

免責事項

本資料に記載の業績見通し、並びに将来予測は、現在入手可能な情報に基づき、見通しのもとになる前提、予想を含んだ内容を記載しております。
実際の業績は、今後の事業領域を取りまく経済状況、市場の動向により、本資料の業績見通しとは異なる場合がございますので、ご承知おき頂きたくお願い致します。

お問合せ先	株式会社トプコン 経営推進本部 広報・IR部
	TEL : 03-3558-2532
	E-mail : investor_info@topcon.co.jp
	URL : https://www.topcon.co.jp